

都市再生整備計画(第3回変更)

第2期松橋駅周辺地区

熊本県 宇城市

令和2年8月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☐
都市再生整備計画事業	☒
まちなかウォークアブル推進事業	☐

目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	熊本県	市町村名	宇城市	地区名	第2期松橋駅周辺地区	面積	22.8	ha
計画期間	平成	29	年度	～	令和	2	年度	

目標
大目標 交通結節機能の強化とにぎわいと交流の創出（「歴史・未来・自然がとけ合う にぎわいとふれあいのまち」を目指して）
目標1 駅前広場や駐車・駐輪場及び情報発信機能の強化による快適で安全・安心な交通結節拠点を形成し、歩行者・自転車利用者の安全性確保と誰もがアクセスしやすい松橋駅を達成する。
目標2 住民による継続的なまちづくりや交流の場を整備し、宇城市の玄関口及び定住の場として、駅周辺の賑わいを高める。

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況
・本市は、JR鹿児島本線、三角線、九州自動車道が南北に走り、古くから交通の要衝地として栄えたまちで、熊本地域、八代地域、天草地域、鹿児島地域を結ぶ結節点として、県央・県南地域の発展にとって重要な地域である。 ・この中で、松橋駅周辺地区は、総合計画、都市計画マスタープラン等の上位関連計画計画において、宇城市の玄関口及び中心市街地として都市機能の集積や魅力的な街並みの形成と居住環境の整備の他、JR駅を中心とした公共交通体系の構築等を図ることを位置づけており、本市の玄関口、商業・業務・行政機能が集積する中核拠点としての役割を持っている。 ・このような位置づけを踏まえ、松橋駅周辺の具体のまちづくり計画として、平成21年1月「宇城市松橋駅周辺地域まちづくり基本構想・基本計画」を策定した。 ・当該計画では、「玄関口としての交通機能の不足」「駅東西の市街地の一体性の欠如（不知火町と松橋町の行政界で別れていた経緯もあり）と安全性の欠如」「駅前商店街の低迷」等を課題とし、この解決に向けて、『歴史・未来・自然がとけ合う にぎわいとふれあいのまち』をテーマに、各種まちづくり方針を示している。なお、計画策定にあたっては、松橋駅周辺地域まちづくり委員会（地域代表者による会議）やアンケートによる意見収集を行うなど、策定過程で住民参加によるまちづくりを進めてきた。 ・これら（合併後の一体性の確保や宇城市の玄関口としての個性あるまちづくりによる地区の再生に向けた）駅周辺のまちづくりを実現するため、平成24年から、松橋駅周辺地区都市再生整備計画事業（第1期）を進めている。この中で、「交通結節機能の強化とにぎわいと交流の創出」を目標として、自由通路、西口駅前広場、駅舎（関連事業）の他、住民による駅周辺のまちづくり勉強会等の取り組みを進めてきたところである。 ・しかし、交通結節機能の整備においては、市街地・商店街に面するメインの東口駅前広場の整備、その他駐輪場等の整備は完成しておらず、交通結節として機能が不足している。加えて、駅前広場が未完成であることから、駅東口の商店街、市街地との連続性も弱く、玄関口としての一体性に欠けている。 ・また、「松橋駅周辺まちづくり勉強会」を開催し、賑わい形成に向けたイベントの検討、駅周辺の空き店舗対策、駅周辺のまちづくりについて、住民との協働による検討を進めてきたところであるが、その実現化に向けた取組みにつなげる必要がある。 ・特に、都市計画マスタープランでも掲げるように、コンパクトな市街地形成において、定住拠点となる駅周辺のまちづくりは重要であり、集中的な投資・整備を行い、第2期計画を実施することで松橋駅周辺まちづくりの達成を目指す。

課題
宇城市の玄関口として、交通結節機能の強化による歩行者の安全性や移動の連続性を確保することが必要
・松橋駅は、駐車場、駐輪場をはじめ、交通結節点としての機能が弱く、駅の利用のしやすさ、訪れやすさに課題を抱えている。 ・特に、松橋駅東口は、駅前広場が狭く、各種車両が交錯するとともに、歩行者動線が確保されていない。さらには迷惑駐輪が横行するなど、駅利用者にとって危険な状況にある。 ・駐輪場での自転車盗難が発生しており、防犯上の課題となっている。 ・松橋駅前には、宇城市の玄関口として位置づけられているが、路線バス等による駅と商店街や市役所等の拠点地区間の連携が弱い状況にある。 <u>駅周辺の定住の拠点及び宇城市の中核拠点としてのにぎわいの創出が必要</u> ・松橋駅東側には既存の商店街が立地するが、空き店舗の増加、公園、広場など都市施設が不足し、地区の回遊性も乏しく、中心地としてのにぎわいが衰退している状況にある。 ・将来、環境に配慮したコンパクトなまちづくりを進めていくためにも、駅周辺の一体的なまちづくりを進めながら、本地区を定住の拠点として、住環境の安全・安心面の確保及び環境への配慮など、付加価値の高いまちづくりが望まれる。

将来ビジョン（中長期）
・第1次総合計画では、「美しい田園風景と不知火海の文化に彩られた未来に輝くフロンティアシティ・宇城」を将来像として位置づけ、「誰もが暮らしやすい都市（まち）づくり」「誇りあるふるさとづくり」「力強い産業作り」を目指し、強くやさしい未来都市の基盤を築き、広い可能性を秘めた開拓都市を市民協働で進めることを目指している。特に、駅周辺地域は、宇城市の玄関口の一つとして、駅周辺の機能性を高めるため、東西駅前広場や自由通路等を整備し、安全性や利便性を高めることを位置付けている。 ・宇城市都市計画マスタープランでは、「水と緑豊かな環境を未来につなぐ都市づくり」「質の高い居住環境を創出し魅力と活力に満ちた都市づくり」「伝統文化に彩られ、活発な交流を育む市民が主役の都市づくり」を将来都市像に掲げ、美しい自然景観の形成やコンパクトシティ化、中心市街地の活性化等の方針を定めています。特に、駅周辺地域を含む西部地域の将来像を「宇城市の中心市街地にふさわしい ゆとりとうるおいある魅力的なまち」とし、この将来像の達成にむけて、本市の玄関口として駅や周辺の利便性の向上、商店街の活性化、魅力的な都市景観の醸成などを基本方向として示している。 ・宇城市松橋駅周辺地域まちづくり基本構想・基本計画では、『歴史・未来・自然がとけ合う にぎわいとふれあいのまち』をテーマに、「1. かつての歴史的な中心地としてのにぎわいの再生」、「2. 公共交通の利便性向上による、歩いて暮らせるまちづくりの推進」、「3. 県央における新たな産業・交流・定住拠点の創出に向けた、計画的なまちづくりの推進」、「4. 誰もが安全に安心して暮らせる都市空間の創出と、環境にやさしいエコタウンの形成に向けた、みんなにやさしいまちづくりの推進」、「5. 市民・行政が協働して進める、みんなのまちづくりの推進」が基本方針として位置づけている。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
歩行者の安全性に関する満足度	ポイント	松橋駅利用者アンケート調査による「歩行者の安全性」に対する満足度評価をみる	松橋駅東口駅前広場の整備をはじめ、交通結節機能の強化を図る事で、訪れやすく、安全な交通環境の創出を目指すものとし、歩行者の安全性に関する満足度を設定する。 ※満足度の平均値は、「1不満」～「5満足」の評価点を平均したもので、5に近いほど満足度は高い	3.08	H28	3.36	R2
松橋駅利用者数（乗降客数）	人/日	松橋駅の一日あたりの利用者数 （年間乗降客数に対する日平均）	訪れる人の起点となり、地域住民の交流拠点となるスペースの整備や市民主体のまちづくりの展開により、松橋駅周辺への集客を増加させ、賑わいを高めることを目指すものとし、松橋駅利用者数（乗降客数）を設定する。 （※H17～H22年データによる将来推計ではR3年の駅利用者数は減少見込みであり、本指標の目標値は計画達成により現状維持を目指す）	3,499	H28	3,499	R2

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
整備方針1:交通結節機能の強化による快適で安全・安心な都市環境の創出		■松橋駅東口駅前広場【道路:基幹事業】 ■松橋駅東口駐輪場【地域生活基盤施設:基幹事業】 ■松橋駅西口駐車場【地域生活基盤施設:基幹事業】 ■松橋駅西口駐輪場【地域生活基盤施設:基幹事業】 ■案内・情報板【地域生活基盤施設:基幹事業】 □観光案内マップ・パンフレット作成【地域創造支援事業:提案事業】 ○宇城市循環バス社会実験【関連事業】 ■照明灯【高質空間形成施設:基幹事業】 ■シェルター【高質空間形成施設:基幹事業】 ○街路灯整備【関連事業】
<u>宇城市の玄関口として誰もが訪れやすい交通環境の整備</u> →宇城市の玄関口となる松橋駅について、歩行者・自転車・車が錯綜する問題を改善し、ひとにやさしい安全・安心な交通環境の創出にむけて、松橋駅東口駅前広場や駐輪場等の整備を図る。 <u>松橋駅を起点として、各地域・施設へ誘う回遊ツールの提供</u> →宇城市の観光情報等の発信、また移動の円滑化にむけた交通情報の発信とともに、松橋駅周辺地区の回遊性の向上にむけて、案内板や観光マップ・パンフレット等を整備し、情報発信機能の向上を進める。 →松橋駅から、公共交通による商店街や市役所等の拠点地区への行きやすさを改善するため、循環バスの運行に向けた社会実験の検討を進める。 <u>玄関口にふさわしい魅力的な都市空間の創出と駅前の顔づくり</u> →本市の玄関口にふさわしいイメージの向上や駅前の顔づくりに向けて、松橋駅周辺の各種施設の高質化、修景整備を進める。		
整備方針2:宇城市の玄関口及び駅周辺の定住の場として、交流による新たなにぎわいの創出		
<u>交流の場の創出とにぎわいの再生</u> →コンパクトな都市づくりの核となる駅周辺において、定住の場としても魅力ある都市環境を形成する。そこで、駅を利用する人の憩いスペースの機能に加え、定住の場として安全・安心な市街地や子育て世代が気軽に遊べる空間として、また人が集まり交流・賑わいを形成する空間として、ポケットパークの整備を進める。 →地域のにぎわいの再生や住民による協働のまちづくりを展開していくため、新たなイベントの検討及び実施を進める。		□情報発信コーナー【地域創造支援事業:提案事業】 □観光案内マップ・パンフレット作成【地域創造支援事業:提案事業】 ○空き店舗対策調査事業【関連事業】 ■松橋駅西口ポケットパーク【地域生活基盤施設:基幹事業】 □(仮称)まちづくりイベント【地域創造支援事業:提案事業】
その他		
○住民参加によるまちづくりの展開 ・第1期都市再生整備計画において実施した「松橋駅周辺地域まちづくり勉強会」の検討結果をはじめ、住民意見を反映し、協働のまちづくりを進めていく。 ・特に、第1期の勉強会を通じて、空き店舗を活用した住民による「街なか図書館」がオープンしており、イベントの検討、空き店舗の検討については、第1期計画における事業成果の他、必要に応じて本勉強会の継続的な取り組みを推進していく。 ○事業終了後の継続的なまちづくり活動 ・今回の事業により整備された内容について市民に広く知ってもらい、また活用してもらえるよう、情報の発信を行っていく。		

様式(1)-④-2

(金額の単位は百万円)

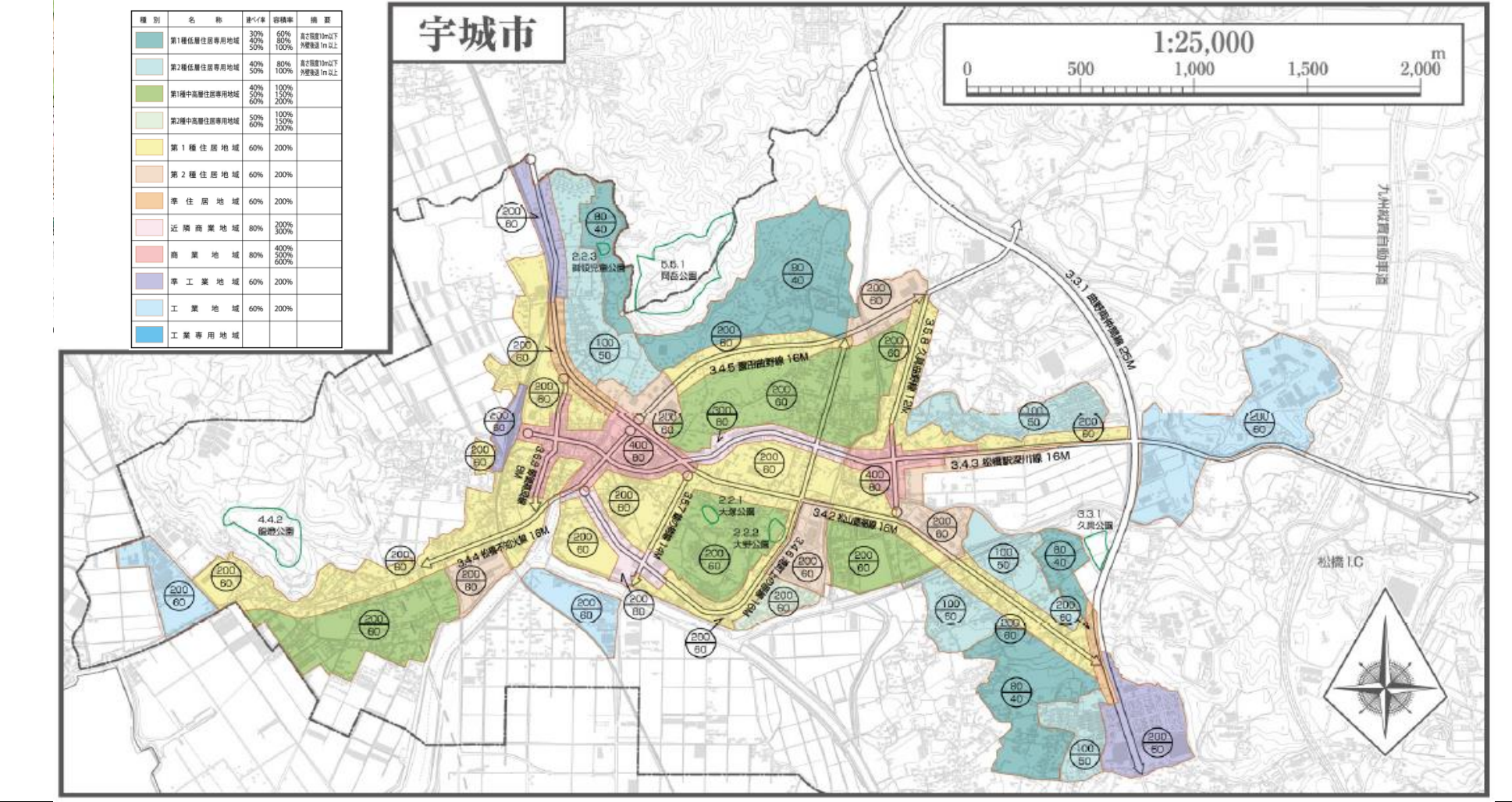
統合したB/Cを記入してください

合計(A+B)	487.0
---------	-------

0

第2期松橋駅周辺地区(熊本県宇城市)	面積	22.8 ha	区域	宇城市松橋町松橋、不知火町御領、不知火町高良 他
--------------------	----	---------	----	--------------------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



第2期松橋駅周辺地区(熊本県宇城市) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業)

目標	交通結節機能の強化とにぎわい交流拠点の創出 (「歴史・未来・自然がとけ合う にぎわいとふれあいのまち」を目指して)	代表的 な指標	歩行者の安全性に関する満足度 (ポイント)	3.08	(H28年度) →	3.36	(R2年度)
			松橋駅利用者数(乗降客数) (人/日)	3,499	(H28年度) →	3,499	(R2年度)
				()	(年度) →		(年度)

